新宿区自治基本条例検討連絡会議 開催概要

第44回平成22年11月4日開催 午後6時30分から午後7時47分 第2委員会室

出席委員 座長

区民検討会議 : 高野副座長、大友委員、土屋委員、斉藤委員、野尻委員、樋口委員

議 会 : 根本副座長、山田委員、佐原委員、小松委員、あざみ委員、久保委員

行政・専門部会 : 針谷副座長、木全委員、加賀美委員、菅野委員、野澤委員、折戸委員

傍聴者 : 0名

1 本日の進め方について

(1) 自治基本条例パンフレット及び広報特集号について

(2) 新宿区自治基本条例地域報告会について

2 議題

座長

・それでは、第44回の検討連絡会議を始めたいと思う。

・早速議事に入りたい。きょうは、次第を見ておわかりのように、パンフレットと広報特集号について確認をしていく、2番目に地域報告会についての段取りを確認していただく。

では、最初にパンフレット及び広報特集号について議論したいと思う。

事務局

・現在お配りさせていただいているのが、初校が出まして、現在まだ校正段階のものになっております。赤のペンで現在修正すべき箇所を直しております。まず表紙、「新宿区自治基本条例が制定されました。」と、制定された経過、概略を書かせていただいております。

1ページ、「自治基本条例に定められている内容」ということで、各章ごとにその概要について説明をしております。そしてまた、右側にその章の該当条文を記載しております。

この中で、何点か修正を既に赤を入れているところは、まず前文に、第1章とか第2章とか、同じようなタイトルを前文という形で振らせていただきます。そして、第2章、最終行、「良好な地域社会を創出努める」と書いてありますが、「地域社会の創出に努める」と修正を入れております。

第4章の右側、第11条が3つ並んでいますが、第10条、11条、12条、13条の順番になっております。

第6章の説明文ですが、こちらが区民の権利と責務のところの第2章の文章が全部入っておりますので、ここは、情報公開及び個人情報保護についての説明文に全部差しかえます。

表題の第7章の住民投票に条文が入りますが、「第17条～第20条」と入ります。そして、右側の条文の表題ですが、第19条「住民投票実施結果」となっていますが、「住民投票の」と「の」が入りません。第20条ですが、「条例の委任」となっていますが、「条例への委任」になります。

第8章のタイトル、「地方自治」になっておりますけれども、「地域自治」に直します。同じく右側の条文のところですが、「地域自治」に直します。

第9章、こちらのほうも、章の次の「この章では」というところ、フォントがほかのフォントと違っておりますので、文字体を合わせます。そして第22条のところ、右側になりますけれども、「目的」と書いてありますが、「子どもの権利等」になります。

第10章のタイトルですが、「国、他の自治体」、「の」が入ります。それから、「関係期間」が違っておりますので直します。そして、右側の白抜きの条のところですが、第23条も「国、他の自治体」ということで「の」が入ります。

まず、ここに全体の章の説明と各条文とその条文の表題を入れた形で全体構成を示します。

そして、さらに1ページめくっていただいて4ページ、修正後は3ページになりますけれども、ここから具体的な条文を、「新宿区自治基本条例（平成22年条例第43号）」、目次以下、前文から第11章まで、次のページ、4ページになっておりますけれども、実際は5ページになりますが、「第11章条例の見直し等」、附則のところまで、条文を記載します。

そして、その右側、最終ページ、5ページと書いてありますが、実際は6ページになります。こちらのほうに、「新宿区自治基本条例制定までの流れ」ということで、平成19年5月、自治・地方分権特別委員会の設置以下、条例の制定まで、これまでの流れを説明していきます。

パンフレットにつきましては、このような構成で考えております。

そして、前回いただきました左上に穴をあけるという件ですが、印刷業者のほうで、現在の費用のまま穴をあけていただくということで了解を得ております。

続いて、広報特集号について説明させていただきます。

こちらはまだ校正前ですので、内容についてはこれから校正を入れた形で直していきませんが、気がついているところなどについて説明させていただきます。

まず写真ですが、各写真にはそれぞれ何の写真かという説明書きを入れていきます。

構成としては、まず1ページ目で、この条例が制定されるまでの経緯及び地域報告会の25日以降に開催される日程について記載しております。そして、1ページ目の下段から自治基本条例についての条文、それから説明という形で、すべての条文について説明書きを入れていきます。

そして、左下の「区民検討会議の構成」ということでいきなり出てきておりますが、こちらは、次ページの上段が各委員からの原稿、区民検討会議の取り組みに関する原稿になっており、この構成図は第4面上段のほうに移させていただきます。そして、今現在、区民検討会議の学識経験者である牛山先生の原稿は、差しかえるということといただいておりますので、原稿をいただき次第、牛山先生の記事は差しかえるということと、牛山先生の顔写真を載せたいと思います。

以上が、広報特集号の校正前の現在考えているところです。

座長

・それでは、パンフレット及び広報特集号案について御意見を伺う。

→広報と逐条解説文と、それからパンフレット、これがいろんな方々に渡るということになる。これは何部つくるのか。(議会委員)

事務局

・部数について、パンフレット及び逐条解説につきましては、それぞれ3,000部印刷をいたします。

「広報しんじゅく」の2面の左上の写真だが、これはかなり前の写真なので、もし今のメンバーの写真があったら、それを載せたほうがいいのかという感じがする。(行政委員)

事務局

・現在のメンバーでの検討連絡会議の写真というのがございません。下のところは提出式のときの写真になっておりますので、現在のメンバーになっておりますが、左上については従前のメンバーしかありませんので、きょうこの場面を撮らせていただいて、写真を差しかえるということではいかがでしょうか。

→パンフレットの表紙だが、A案、B案をここで決めてほしいと言われたが、皆さん同じだと思うのだが、内容が全く同じで、デザインでいったらすべての面でB案がいいだろうというふうにする。

区民討議会については、簡単でもいいからその存在意義というのを、画期的な意味を持っている。それをどこかで入れておくほうが親切ではないかと思った。(議会委員)

座長

・事務局は、C案の趣旨はわったか。

事務局

・確認ですが、デザインは、ベースはA案で、上部の文字はB案ですが、B案の文字が白抜きになっていますので、ブルーのベースに白抜きだとちょっと見えなくなってしまう。文字の色は印刷業者と相談させてください。文字の配列はB案ということで承りましたので、文字の色は、背景との関係で、一番目立つような文字の色を選定するというので、よろしいでしょうか。

→下の真ん中、帯になる部分の文字がゴシックで重い、下はこの文章このままでいいのだが、この辺に工夫が、もうちょっとやわらかくしていただくということは可能か。(区民委員)

事務局

・「新宿区自治基本条例が制定されました。」というところの文章ですか。検討させてください。

→区民討議会について、どこかでスペースをとって簡単に説明をしておいたらどうでしょうかということだ。余裕はあるか。(議会委員)

事務局

・例えば広報かパンフレットか、いずれでもいいという位置づけなのか。広報の一番最終ページ、4面のところに、区民討議会についての補足みたいな形で入れるということは可能だと思います。

- ・広報のほうで検討させていただきたいと思います。

座長

- ・ほかにあるか。これは前回決着がついたのかもしれないが、「区（行政）」という書き方、今回も6・7カ所あるが、条例文には全くないから、それと別の文章だということで処理しようと、前回そういう議論になったか。

事務局

- ・前回、逐条解説のほうで今御指摘の御意見をいただきまして、逐条解説のほうは参考という位置づけにし、そこについては、この前の10月25日号で記事が載っているんですけども、そこから引用した記事ということで表記することによって、逐条解説文との区別というか、その差がわかるような形をとるということで対応させていただいております。

座長

- ・それなら了解。そのほか御意見があれば。なければ、これについては御意見をいただいた。それに沿って対処させていただきたいと思う。それでは、次に地域報告会について議論したいと思う。

事務局

- ・配布資料ですが、資料1から資料3までを表記した上で、先ほどお話しさせていただきましたが、討議会の報告書と区民アンケートの集計結果は、参考資料という位置づけにさせていただきました。

資料3、こちらがパワーポイントの画面。画面のベースは、以前の地域懇談会で使いましたパワーポイントをベースにしまして、各条文を載せさせていただいたという形になっております。

2ページ目。まず、自治基本条例の構成ということで、各章と該当の条文を記載させていただいておりますが、条文に誤りがございますので直していただきたいと思います。

そして、3ページの下段を見ていただきたいんですが、「第1章 総則②」ですが、「総則」と「②」の間にワンスペースあけて「定義」をつけるという形にさせていただきたいと思います。

第1章以下は、第1条から第25条まで条文を掲載させていただいております。

まず右側にいきまして、「第1章 総則」は、①で目的、第1条、②で定義、③で基本理念、④で条例の位置付けという形で、基本的には条文単位でパワーポイントは作成しております。

10ページの「第6章 情報公開及び個人情報保護」につきましては、2つの条文を載せさせていただいております。また、13ページに飛びまして第10章、こちらにつきましても、第23条、第24条につきましては2つの条文を載せさせていただいておりますが、それ以外の部分につきましては、パワーポイント1画面1条分ということを原則として載せさせていただいております。

資料5の条例報告会説明文。こちらの説明文は、原則として逐条解説をベースにつくっております。逐条解説の説明文を要約した形で書いております。この説明文を読み上げていただくと、ほぼ時間どおりで説明が終わるような文字数まで圧縮した形で掲載させていただいております。

2ページ目の前文は、逐条解説の中には各段落ごとにそれぞれ説明書きが入っておりますが、ここは全文本文を読むということもありますので、説明文は、前文の趣旨だけを説明文に掲載させていただいております。3ページ目にいきまして定義、第2条になりますが、こちらには、区民以下（4）まで4つの定義をしているんですが、説明文は、「区民」と「公共サービス」というところのみ、説明文に入れさせていただいて、「区の行政機関」、「職員」については説明文では省略。それ以降、逐条解説の文章を少し要約する形で、各条文の説明を書かせていただいております。

画面と説明文が合うような形で編集させていただいておりますので、9ページ、「第6章 情報公開及び個人情報保護」のところ、情報公開と個人情報保護は、2条分をパワーポイント1画面としておりますので、こちらの説明も、それぞれの説明書きを書かせていただいております。

12ページ、「第10章 国、他の自治体及び関係機関との連携及び協力等」につきましても、第23条と第24条の説明文を合わせた形で説明文を編集させていただいております。

それ以外は、条文ごとに説明が入っているということで、パワーポイントでは条文を出しておりますので、各章ごとにまず条文をお読みいただいた後、条文に関する説明をしていただくという形をとっていただくと、パワーポイントの画面と説明文の表記が一致するという形になっております。

前回、逐条解説は確定という形でお話しいただいたんですが、その後、こちらのほうの説明文でいいますと8ページの上段、これは「職員の責務」の説明書きですが、下から4行目、「特に、公益保護及び職員の行動基準」ですが、この「基準」は「規準」が正しいので、前回から修正をさせていた

だきました。3ページ目。定義の「区民」の説明文、お配りしている資料ですが、「新宿区に住所を有する住民」という表記ですが、こちらは、こう書くと住所を有しない住民もあるというような誤解を招く可能性があるということで、条文と合わせた形で「新宿区に住所を有する者が中心であることはもちろんですが」という形に修正をさせていただきたいと思っております。

→説明者はこれを読み上げるわけだね。ということになるね。イメージがちょっと違って、私は読み上げるように台本がくるのかなと思って期待していたが、私がトップだから、ここで実験台になるわけだね。条文も読んで、そして説明文も読むというわけか。（議会委員）

事務局

・前回の話ですと、条文については読んだほうがいいんじゃないかということですので、まず条文を各条ごとに読んでいただいた後に、説明をしていただくという順番で考えております。

→17日は早い時間に準備してリハーサルをやってみないと、ぶっつけ本番では何分かかるかもわからないね。40分間でいくか。（議会委員）

事務局

・この説明文を読み上げていただくという前提で要約してつくっておりますので、基本的には説明文をそのまま読み上げていただくということで考えております。

これ自体、読むと40分かからないで終わりますが、その前後に、今回の検討の仕組みであったり、そういったところを少し話さないといけないと思いますので、ここでいうと、例えばパンフレットの最終ページに制定までの流れがありますね。この辺を少し触れてから、こういう取り組みで条例が制定されましたという前段があって、それから条文の説明に入っていくのかなと思いますので、これだけを読むと30分ちょっとぐらいで読み切れると思います。

→それは最初の方のあいさつのときにやっていただいて、説明は説明だけにしたほうがわかりやすいんじゃないかと思うが。（区民委員）

事務局

・今、あいさつが5分で設定しております。もし流れを冒頭で説明するのであれば、今の5分を3分ぐらい延ばして、前のあいさつをする方の仕事に入れるというような形になるかと思えます。

→いずれでもいいのだが、流れの部分の説明は台本か何かないか。要領よくわかりやすくこの流れ、成り立ちというものを説明するのは、メモが無いと思ったもので、それがあいさつの部分に入るか説明の部分に入るかはどちらでもいいと思うが。（区民委員）

事務局

・全体の流れは、事務局でつくらせていただきたいと思います。ただ、あいさつ者に入れるのか説明者に入れるのかだけは、きょう決めておいていただければと思います。

→条文はきちっと読んだほうがいいと思っているが、説明文は、この条文についてはあえて説明する必要はないと思いますので省略しますと言う気は持っている。（議会委員）

→1回リハーサルさせてもらおうと思っているが、まずパワーポイントで「みんなでつくろう！新宿の未来」と出るでしょう。新宿区自治基本条例と出たときに、私は何をしゃべっていいのかわからないかと思うわけだ、このとき黙っていたら。その次に、条例の構成というところは、前文を読み上げればいいのかとか迷っちゃうわけ。前に我々がやったときには、ちゃんと話し言葉のようなものをつくったのだが、そこまでやってくれとは言わないが、どこで出ていいのかというのが、これだけ渡されて、目が悪いのに、あたふたやるという心配のほうが大きいんだよね。（議会委員）

事務局

・それでは、条例の説明文の前の全体の構成については、事務局で、条文に入ったら、ベースはきょうお配りした説明文でやっていただいて、基本的には条文を読めばわかるようなところは簡単な説明しか入れていませんので、それは省略していただいても何ら差し支えないと思っておりますが、頭のところのパワーポイントの画面で、条文に入る前の前段の全体構成とか、その辺につきましては事務局で、先ほどの制定の流れとあわせて用意させていただきたいと思っておりますので、事前にお配りしますので、ちょっと目を通していただければと思います。

→説明がなれていので、シナリオがあればいいのだが、今、説明は省いてもいいという話をしたけれども、この説明を省いたら、恐らく質疑応答の時間がかかりかかると思う。なぜかという、短めにつくってある文ですから、逐条解説をつくって説明しようというわけだから、こ

の説明を退かしたら質疑応答の時間は倍以上かかるような気がするが、どうか。（議会委員）

→前回、この条例を制定して、報告会ということは、皆さんにわかりやすい形で説明しましょうといっているのに、条文だけ読んで、あとは何でも言ってよと、これはない。それなりの、全部読まなくもいいが、部分的なところで、これはアレンジしてはいけない部分もあるが、書いてあること以外のことは言ってはいけないルールとか、そのくらいはしてあげないと、この条文は何を書いているのかわかって、「うん、わかった」とみんなが帰れると思う。だから、そこの部分を少し考慮していただきたいなという気がしている。（区民委員）

→今の話は議会の中でも意見があるところ。10会場で18人、19人が協力してやるのだから、これをつくって、これに基づいてきちんとやるというふうに考えた上で、しっかりした台本をつくって、みんなが同じようなことを説明していくというふうに心がけるべきだと思う。これが台本だから、ちょっとびっくりしたんだ。（議会委員）

→会場にいらっしゃる方は、それこそ初めてこういうものをごらんになるわけだから、丁寧に説明することだ。まさしくこれが、この場でも「てにをは」まで含めて検討した説明文だから、本当に要領よく簡潔にまとまっていると思う。基本的にはこれを読むということで、それで、簡単なところは飛ばすということで、少しアレンジはあったにしても、基本的にはこれでいいかと思う。流れみたいなものはあいさつの中で言って、聞いているほうもしっかりくるのではないかと思う。（区民委員）

座長

・では、経過の説明はあいさつでやるということで、いいね。それから、くれぐれもお願いしておきたいのは、学生の報告でも、原稿を書いてきて読む学生がゼミでいるが、それは禁止している。やっぱり趣旨を理解したら、そこはある程度アレンジして自分の話し言葉にしてというふうにはしないと、聞いているほうがとてもつらいというふうに思う。

・これは、画面1つごとに1ページ大きな字で書いておいて、1つやって画面展開するときは、こっちもめくるというのだとやりやすい。

事務局

・基本的には、条文と説明文で1ページという形になりますので、それで編集をかけます。ですから、めくっていただいて、前文は除きますが、総則から始まって、目的第1条を読んでいただいた後に説明をしていただくと、ここで画面が1画面になっていますので、条文、説明が必ず1画面になっています。先ほど例外として2つ挙げましたけれども、あそこだけが1つの画面に2条入っていますので、したがって説明書きもそれに合わせた形で、2条を四角で囲って、2条の説明が下に入っておりますので、ページ替えだけ編集すれば今の御期待には添えますので、画面と合わせてページが変わるよという形で編集し直します。

・先ほど、流れはあいさつのところでやるということになりましたので、資料4の時間配分は、あいさつを8分、条例の説明を37分という形で、時間を変えさせていただきます。

→ずっと長いことカメラを回して、僕らの姿を撮ってくれて大変だったと思う、重い荷物を持って。区民検討委員会の仲間、僕ら19人が本当に世話になった。あの人に感謝のあれをこの会で、終わるに当たって考えるべきではないかと思ったが、いかがですか。

座長

・ちなみにこれまでの経験では、一度の欠席もなく活発に発言された市民委員の方がおられて、その方1人が30名のうち皆勤だったので、最終日に私がこっそり、表彰状みたいなものを、印刷屋に毛筆で書いてもらい、紙を1枚だけ贈ったことがある。そのようにするか。

・最初に申し上げたように、人はそれぞれ考え方が違って当たり前だという、それをすり合わせていくところに公共性の空間が生まれるんですよみたいな話をしたけれども、いい実験例だった。本当にそういうふうになるものなんだなということを実感できた。そういう意味では、すばらしい素材の方たちばかり集まっていただけということが原因だったろうなと思っている。

そういう意味では私も感謝しております。ありがとうございました。

散会 午後 7時47分